

北っ子だより

第 7 号

【本校教育目標】
「聴き合い 言い合い つながり
響き合う 子どもの育成」
平成29年3月24日発行
吉野町立吉野北小学校
校長 藤井 登志夫



一年間 有り難うございました。

校門付近の桜のつぼみが大きく膨らみ、もうまもなく開花しようとしています。学校を囲む野山からは、春の息吹が感じられるようになりました。

平成28年度本校教育活動が幕を下ろそうとしています。今日までの間、保護者の皆様の温かいご支援ご協力で、本校教育活動を進めることができました。本当に有り難うございました。次年度も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

体験入学 2月



わかばこども園、吉野こども園からこの春入学予定の子どもたちを招待しての体験入学を行いました。前半は、1年生と一緒に授業体験や校内探検をして過ごしました。後半は5年生と一緒に給食を食べました。この5

年生が4月7日の入学式では新6年生として、胸に花を付けて教室まで案内してくれます。平成29年度入学予定は、12名です。

6年生を送る会 3月10日(木)



(6年生：舞台の前に整列)



(1～5年生の自画像)

お世話になった6年生に楽しんでもらって、小学校最後の思い出にしておらおうと5年生が中心に企画・運営した「6年生を送る会」でした。この日は、寒い一日でしたが、体育館の中は、終始笑顔が溢れ、温かい雰囲気がいっぱいでした。1～5年生の心のこもった出し物やプレゼントに6年生は十分満足している表情でした。



(感謝を込めたプレゼント)



(工夫された学年の出し物)

第10回 卒業証書授与式 3月22日(水)



前日の雨が上がり、柔らかな春の日差しがこぼれる体育館で6年生15名の卒業証書授与式が行われました。この一年間、吉野北小学校の最高学年として、1～5年生をしっかりとリードしてくれました。お別れは寂しいけれど、中学校でさらにそれぞれのよさを伸ばして、未来に向かって羽ばたいてくれることを願っています。どうか、いつまでもこの吉野北小学校で学んだことを忘れないでください。

〔校長式辞から一部抜粋〕

～前略～

15名の卒業生の皆さん、「ご卒業おめでとう」。今、手渡した皆さん自身が漉いた卒業証書、その証書には沢山の人の気持ちと思いが詰まっています。この世に生を受け今日のこの日まで育ててくれたご家族の方々の慈しみや温かい心。共に過ごし助け合った友だちとの友情。そして、担任の先生や一緒に過ごした先生方の思い。更には、あなたたちを温かく見守ってくださった地域の方々の支え。など、かけがえのない一人一人の成長の証として、いつまでも大切にしたいと思えます。

～中略～

月曜日の全校朝の会で、皆さんに心のことを話したことが幾度かありました。雨の多い6月、廊下を走る人が増えた時には、心のブレーキが甘い。校内マラソン大会に向けては、あきらめない心を強くする。つい先日の6年生送る会では、心のこもった集会をと、幾度となく心のことを取り上げました。心の持ちよう、心の有り様が皆さんの態度や行動を左右すると考えたからです。心の中は人には見えませんが、それは、立居振る舞いなど態度や姿勢に現れます。勿論、書き上げたノートの文字にもその時の心の様子が現れます。心が定まり真剣に取り組めば、皆さんは素晴らしい力が発揮できる持ち主ばかりです。自分の心を見つめ、コントロールすることが中学校生活を成功させる道だと信じます。とはいえ、いつも思い通り、順風とは限りません。向かい風や、時には嵐や吹雪が皆さんを悩ますこともあるでしょう。しかし、人生の逆風を受けて、自分を不幸だと考えたり、言い訳の種にしたりしてはなりません。

寒さに震えた人ほど太陽の温かみを感じるといいます。人生の悩みをくぐった人ほど、生きていく本当の意味を知っているともいいます。多くの困難や苦しいことはつらいですが、乗り越えるたびに、成長や飛躍が期待されます。人生の逆境はあなたを磨き、一人前の大人へと成長させてくれるのです。

本校、全ての教職員が皆さんの活躍を心から応援しています。どうぞ、精一杯頑張ってください。(終わり)

◇短い春休みですが、安全に十分気をつけて生活を送りましょう。1年間の学習で使った物を整理して、次の学年に備えましょう。1学期始業式は4月6日(木)です。元気に会えるのを待っています。